

【全体概要】

主食用米の需用が低迷する中、本県における水稻の作付品種はコシヒカリに偏重している一方、実需者からは、業務用向け品種のニーズが高まっている。そこで本事業を活用し、業務用向け品種について、省力化及び多収技術を確立することにより、低コストでの生産を実現するための栽培手引きを作成する。

新品種・新技術等の概要

1 新品種

業務用向けニーズに合った品種として、多収性かつ食味に優れる品種の導入実証を行った。

〔主な導入品種の特性〕

品種名	早晩性	耐倒伏性	品種名	早晩性	耐倒伏性
ちほみのり	早生	強	あきだわら	晩生	やや強
つきあかり	早生	強	ゆきん子舞	早生	強

2 新技術

省力化又は低コスト技術として、以下の技術の導入実証を行った。

- ①全量基肥 ②流入施肥 ③可変施肥 ④低コスト資材
⑤密播育苗 ⑥露地プール育苗 ⑦ドローン防除

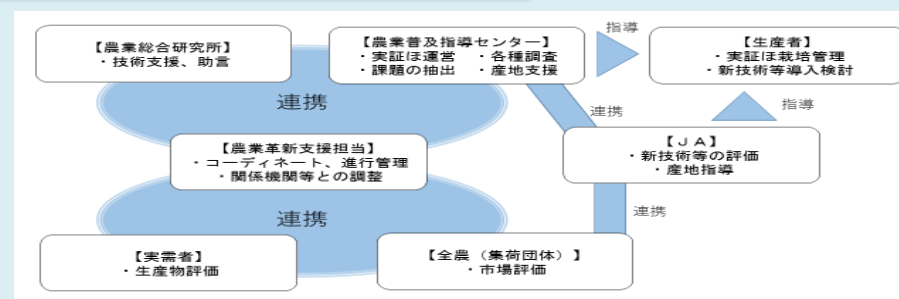
主な取組内容

- 品種・技術の特性把握
・県内27か所で低コスト・多収実証ほを設置
- 検討会の開催
・実証ほの現地巡回、成績検討会を開催
- 産地・実需者の意向・ニーズ等調査
・首都圏実需者へのニーズ調査を実施
- 栽培・技術マニュアルの作成
・取組1年目として暫定版マニュアルを作成



〔多収性品種の実証ほ〕

実施体制図



課題と今後の対応

〔課題〕

- 多収性品種の栽培のポイントである、適期移植や、指標どおりの葉色の維持のための追肥が適切に行われたことから、実証ほの坪刈収量は目標を上回った。
- 一方、実証を担当した経営体においては、ほ場間の収量差が生じたことから、実収レベルでの目標達成が今後の課題となった。

〔今後の対応〕

- 引き続き栽培実証ほを設置し、新品種の栽培の手引きを作成する。

〔実証ほの収量実績〕

品種名	目標収量 (kg/10a)	坪刈収量 (kg/10a)	品種名	目標収量 (kg/10a)	坪刈収量 (kg/10a)
ちほみのり	675	735	ゆきん子舞	654	713
つきあかり	652	669	あきだわら	682	698